

横田基地における演習等の実施について

1 演習の名称

- サムライ即応監査（S R I：Samurai Readiness Inspection）

2 日程

- 令和2年10月21日（水）～10月30日（金）
※ 10月21日（水）～25日（日）は図上訓練
- 通常の運用時間内で実施予定（7時30分から21時30分）

3 内容

- 実施に伴う航空機の運用
 - ・ 通常の運用よりも使用が増える予定であるが、外来機の使用はない予定
- P A S、G B S及び煙幕等の使用
 - ・ P A Sを使用予定
 - ・ 数日に渡り、数回、G B S及び煙幕を使用予定
 - ・ バッシュキャノン又はフラッシュグレネード（閃光発音筒）を使用する可能性あり

4 その他

- ゲートの閉鎖は行わない予定
- 演習終了の通報を行う予定
- 演習等の予定については、諸事情により変更される場合あり

5 北関東防衛局における対応

- 北関東防衛局から米軍に対し、本演習の実施に当たっては、日米合同委員会合意の遵守に努め、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう配慮を申し入れた。

（参考）

- ・ S R I：Samurai Readiness Inspection（サムライ即応監査）
有事における即応態勢の維持強化及びORE*に対する監査。
※ORE：Operational Readiness Exercise（運用即応演習）
仮想戦闘環境における基地の機能テストであり、テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応態勢をとることを訓練するもの。
- ・ P A S（Public Address System）：パブリック・アドレス・システム
以前は、ジャイアントボイスと呼んでいたもので、大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ G B S（Ground Burst Simulator）：グラウンド・バースト・シミュレーター
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。
- ・ バッシュキャノン（Bash Cannons）：滑走路上の鳥を追い払うための、疑似音を出す装置

以 上